

令和7年度 病虫害防除技術情報 第5号

令和7年7月16日
大分県農林水産研究指導センター
農 業 研 究 部

トビイロウンカの防除対策の徹底について

トビイロウンカは、令和元年および2年に県内各地で坪枯れが多発するなど甚大な被害をもたらしており、本年度も発生に十分注意する必要があります。苗箱施用として長期残効性のトリフルメゾピリム含有薬剤の普及が進んでいますが、早植えの水稻を中心に、苗箱施用剤の残効がなくなる時期にも差し掛かっており、今後の発生が懸念されます。

トビイロウンカは、本県の予察灯（豊後大野市三重町）において6月15日に確認され、6月16日～17日および6月22～23日に九州の一部の県で飛来が確認されています。

また、J P P - N E T病虫害発生予測データベースーウンカ飛来予測システム（トビイロウンカ、（一社）日本植物防疫協会）により、7月14日の飛来が予測されています。

そこで、本県で飛来が確認された6月15日及び飛来予測日にあたる7月14日を起点とし、有効積算温度を元に防除適期を予測したところ、ほぼ同様の結果が得られましたので、航空防除及び集団防除における計画策定等、今後の防除対策の参考にしてください。

1 トビイロウンカ防除適期の予測

表1 予測されるトビイロウンカの防除適期(6月15日飛来)

地点	防除適期 (第二世代幼虫)	防除適期 (第三世代幼虫)
国見	8/3 ~ 8/15	9/1 ~ 9/15
中津	7/30 ~ 8/11	8/28 ~ 9/10
豊後高田	8/1 ~ 8/13	8/30 ~ 9/13
院内	8/1 ~ 8/13	9/1 ~ 9/16
杵築	8/2 ~ 8/14	9/1 ~ 9/15
武蔵	8/5 ~ 8/18	9/6 ~ 9/20
日田	7/30 ~ 8/11	8/27 ~ 9/9
玖珠	8/4 ~ 8/17	9/5 ~ 9/21
湯布院	8/8 ~ 8/22	9/15 ~
大分	7/30 ~ 8/11	8/28 ~ 9/10
犬飼	8/1 ~ 8/13	8/31 ~ 9/14
竹田	8/2 ~ 8/15	9/2 ~ 9/17
佐伯	8/1 ~ 8/13	8/30 ~ 9/12
宇目	8/3 ~ 8/16	9/4 ~ 9/19
蒲江	8/2 ~ 8/14	8/31 ~ 9/13

※1 飛来予測日(6月15日)は、本県予察灯調査における初誘殺日とした。

※2 发育ステージに基づくトビイロウンカの防除適期は、飛来予測日(6月15日)を起点として、JPP-NET病虫害発生予測データベースー有効積算温度計算シミュレーションver.2及び各地点のアメダスデータ平均気温(7月15日までは本年度実測値、7月16日以降は平年値)を元に予測した。なお、予測の際に用いた有効積算温度及び发育下限温度は、表2を根拠とした。

表2 有効積算温度及び发育下限温度

ステージ	有効積算温度(日度)	发育下限温度(℃)
成虫	125	12.0
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

表3 予測されるトビイロウンカの防除適期(7月14日飛来)

地点	防除適期 (第一世代幼虫)		防除適期 (第二世代幼虫)	
国見	7/31 ~	8/12	8/29 ~	9/11
中津	7/30 ~	8/11	8/28 ~	9/10
豊後高田	7/31 ~	8/12	8/29 ~	9/11
院内	7/31 ~	8/12	8/31 ~	9/14
杵築	7/31 ~	8/12	8/30 ~	9/13
武蔵	8/1 ~	8/14	9/2 ~	9/16
日田	7/30 ~	8/11	8/28 ~	9/10
玖珠	8/1 ~	8/14	9/1 ~	9/16
湯布院	8/2 ~	8/16	9/7 ~	9/25
大分	7/30 ~	8/11	8/28 ~	9/10
犬飼	7/31 ~	8/12	8/30 ~	9/13
竹田	7/31 ~	8/13	9/1 ~	9/16
佐伯	7/31 ~	8/12	8/29 ~	9/11
宇目	7/31 ~	8/13	9/1 ~	9/16
蒲江	7/31 ~	8/12	8/29 ~	9/11

※1 飛来予測日(7月14日)は、JPP-NET病害虫発生予測データベースーウンカ飛来予測システム(トビイロウンカ、(一社)日本植物防疫協会)及び気象再解析データを元に解析した。

※2 発育ステージに基づくトビイロウンカの防除適期は、飛来予測日(7月14日)を起点として、JPP-NET病害虫発生予測データベースー有効積算温度計算シミュレーションver.2及び各地点のアメダスデータ平均気温(7月15日までは本年度実測値、7月16日以降は平年値)を元に予測した。なお、予測の際に用いた有効積算温度及び発育下限温度は、表2を根拠とした。

表4 トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月上旬 ~ 8月上旬	2頭/10株 (0.2頭/株)
8月中旬 ~ 8月下旬	10頭/10株 (1頭/株)

2 予察灯におけるウンカ類の発生状況

(1) トビイロウンカ

6月15日に白熱式予察灯にて1頭を誘殺。

(2) セジロウンカ

7月1日に白熱球予察灯にて1頭を誘殺。

3 現地巡回調査におけるウンカ類の発生状況

(1) 6月16～20日

トビイロウンカは、早期水稻調査10圃場では、発生が確認されなかった。

また、普通期水稻調査40圃場のうち調査可能な11圃場では、発生が確認されなかった。

なお、セジロウンカは、早期水稻6圃場及び普通期水稻1圃場で微発生、普通期水稻1圃場で「少」発生が確認された。

4 防除上の注意事項

- (1) 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。

病虫害対策チームホームページアドレス

<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujosho/>

